

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年2月13日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年2月12日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	オーストリア
留学先大学	ザルツブルク大学 (日本語名) Paris Lodron Universitat Salzburg(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語、英語/ 英語
留学期間	2023年10月 ~ 2023年2月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬~7月下旬 2 学期: 9月中旬~2月上旬	1 学期: 10月~2月 2 学期: 3月~7月 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	18000
創立年	1622

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	日本円	備考
授業料		円	
宿舍費	776	130,000 円	光熱費等込み
食費	500	80,000 円	1ヶ月あたり100ユーロ程度
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	50	8,000 円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		約 70,000 円	形態: 明治大学で加入したもの
渡航旅費	18000	300,000 円	
ビザ申請費		円	
雑費	18000	300,000 円	旅行費
その他		円	
その他		円	
合計	37,326	888,000 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 成田 目的地: ザルツブルク 経由地: イスタンブール
復路 出発地: ザルツブルク 目的地: 羽田 経由地: イスタンブール
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: ターキッシュエアライン 料金: 約 180,000 円 復路 航空会社: ターキッシュエアライン 料金: 約 120,000 円 ∴合計:30 万円
航空券購入方法
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: エアトリ) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名:) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Schwarzes Ross) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
Oeads Student housing
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
町の中心にあり、学校やスーパーなど全て徒歩圏内で行けたところがとても良かった。50 人くらい住んでいる割にキッチンが二つしかないので使いづらいところが難点だった。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省から情報を得た。ザルツブルクで生活する時には特に防犯対策はしていなかった。旅行の際は貴重品を首から下げてコートの中に入れるなど、盗難対策をしていた。犯罪に巻き込まれたことはなかった。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のWi-Fiは問題なくつながったが大学のWi-Fiは時々繋がらないことがあった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金を現地でユーロに変えて、現地で開設した口座に振り込んだ。銀行からデビットカードをもらったのでそれを利用していた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

基本的に物価が高いので、気になる方はできるだけ日本から持っていくことの方がお勧めします。私が持ってきて良かったと思うのは、レンジでパスタを茹でられる容器とレンジでごはんが炊ける容器、お湯のできるシジミスープです。自炊がだんだん億劫に感じていたので即席系のものがあると便利でした。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)	
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Gender and Power: Introduction to Gender studies		
科目設置学部・研究科		
履修期間	2023w	
単位数	3ect	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Lecture(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に90分が1回	
担当教授	Lefkofridi, Zoe	
授業内容	あらゆる観点からジェンダーと権利の関係について学ぶ。ゲストレクチャーが多く、黒人女性や移民の観点などからジェンダーについて学ぶことができる。	
試験・課題等	課題はなく、100%テスト	
感想を自由記入	毎回違うテーマでジェンダーについて学べるので面白かった。テストが選択問題だったので比較的易しかったと思う。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to the Study of English	
科目設置学部・研究科	
履修期間	2023W
単位数	3ect
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Stockl, Hartmut
授業内容	英語の歴史や形態、発音などについて学ぶ。
試験・課題等	課題はなく、100%テスト。テストは3日程で設定されており、どこかで受ければOK。3回受けることもできる。
感想を自由記入	授業自体は淡々としているので興味がないと面白くないかもしれないが、スライドが見やすいので理解しやすいと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
social change	
科目設置学部・研究科	
履修期間	2023w
単位数	3ect
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Shinozaki, Kyoko
授業内容	アンチジェンダーや移民、黒人、環境など講義ごとに幅広く社会の仕組みや問題を学ぶ。
試験・課題等	テストの時間内でEssayを書く
感想を自由記入	内容はかなり難しかったが、日本ではそこまで身近でない移民についてや社会に対する新しい知識や考え方が得られたので有意義だったと思う。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL
	10月～12月	選考、出願
留学開始年	1月～3月	留学先が決定
	4月～7月	寮、飛行機の確保
	8月～9月	準備、渡航
	10月～12月	一学期
留学/帰国年	1月～3月	期末試験
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

ザルツブルク大学は第一志望ではありませんでしたが、オーストリアというヨーロッパの中心に位置していることから様々な国の留学生が集まり、いろいろな国の人と関われるのではないかと、周辺地域へ旅行に行きやすそうだと思い、選びました。実際に、ザルツブルク大学には特にヨーロッパ圏の留学生が多く、いろいろな国にルーツを持つ人がいました。また、街がコンパクトで徒歩での移動がしやすいのに加えて、景色がとても綺麗で、自然豊かな景色と「ヨーロッパ」な景色を毎日楽しむことができます。また、あらゆる国と接しているのでバスや電車を使えば周辺の国にもいくことができます。

ザルツブルク大学は留学生がとても多く、自由度が高いので何をすることも自分次第だという印象を受けました。また、私は講義形式の授業しかとらず、全て期末試験で成績が決まるのでかなり苦しみました。それでも日本にいたら学べなかったような授業をとって学ぶことができたので有意義だったと思います。

楽しいことも辛いと感じることもありましたが、総じて私はザルツブルク大学に留学できて良かったと思います。準備段階から様々なトラブルや不安を感じることもありますが大抵のことはなんとかなるとここに来て学んだので、心配しすぎなくて大丈夫だと思います。留学生活、楽しんでください。

